

中田 仮面ライダーシリーズ展



▲昭和から平成への仮面ライダーシリーズの歩みを展示

生誕75周年の特別企画

石ノ森章太郎ふるさと記念館では、石ノ森章太郎生誕75周年企画、第45回特別企画展「仮面ライダーヒーロー展」を開催しています。本年は、萬画家石ノ森章太郎氏の生誕75周年に当たることから、企画展では石ノ森氏の代表作である「仮面ライダー」の歴史を振り返ります。会場には、昭和ライダーから平成ライダーと呼ばれる近年シリーズへの移り変わりを中心に、原画や複製画、写真などを展示。仮面ライダーの軌跡をたどる内容となっています。特別企画展は来年1月26日まで開催しています。

迫 下舟丁行政区でお楽しみ会



▲ユニカールに初挑戦。すぐ上手に投げられるようになりました

ニュースポーツに初挑戦

下舟丁区子ども会育成会による「お楽しみ会」が11月2日、迫公民館で開催されました。32人が参加した今回の事業は、ニュースポーツ体験を通して子どもたちの健全育成と親睦を図ることが目的。指導者として迫町のスポーツ推進委員を招き、ジュニアリーダー「あおびつき」のメンバーも協力しました。参加した子どもたちは、推進委員の指導を受けながら一投ごとに上達。初めてのユニカールでしたが、上手に投げられると元氣いっぱい笑顔を見せ、慣れた様子で競技を楽しんでいました。

文化芸能に親しむ3日間

豊里地区市民文化祭が11月2日から4日までの3日間、豊里公民館を会場に開催されました。作品展示では、豊里地区の保育園や幼稚園、小・中学校生徒たち、地区内の福祉施設を利用している皆さんの作品など多くの力作が展示されました。4日には、豊里文化協会加盟団体による芸能発表会が行われ、日頃の練習の成果を披露。豊里幼稚園の園児たちによる「よさこい」や、豊里保育園の園児たちによる「お祭りマンボ」、豊里風太鼓「風神鼓流」など、盛りだくさんの芸能発表会となりました。

地区文化芸能発表会を開催

豊里



▲オープニングを飾る豊里風太鼓の皆さん

日頃の活動・作品を披露

日頃の文化活動を発表する「とよま文化祭」が11月2、3日の2日間、登米公民館を会場に開催されました。とよま文化祭は今年で40回目を迎え、今年度は登米町の13の文化団体が参加。それぞれの団体活動の成果を作品として発表・展示しました。会場には、菊花展をはじめ、華道や生花、俳句、裏千家河内社中によるお茶席などが設けられました。また、南三陸町の作品展や登米児童館、登米小学校の子どもたちによる数多くの作品が所狭しと並べられ、会場に訪れた人たちの目を楽しませていました。

とよま文化祭で発表・展示

登米



▲会場となった登米公民館には多くの作品が展示されました

米山 よねやま秋まつりが大盛況



▲市内外より11チームが参加。躍動感あふれる踊りを披露した「よさこい」

イベントいっぱい楽しむ

「第8回ふるさとよねやま秋まつり」が11月2、3日の2日間、米山総合支所周辺を会場に開催されました。体育館で行われたステージ発表では、幼稚園児や小・中学生による発表のほか、地元出身の歌手「さかえ里美」さんの歌謡ショーなどで大変盛り上がりしました。道の駅米山の特設会場ではちびっ子相撲大会を開催。白熱した試合に大きな声援が飛んでいました。「よさこい」では、各チームが仮装の衣装で登場、笑いを誘っていました。今年も両日とも晴天に恵まれ、訪れた人たちは楽しいひとときを過ごしました。

東和 特設会場で秋まつりを開催



▲東和中の男子生徒によるダンス

販売や踊りで大にぎわい

「東和の秋まつり」が11月2日、東和総合支所特設会場を中心に開催。生け花や写真などが支所ロビーに展示されたほか、ステージ発表、農林産物や東和中生徒たちの起業学習販売などが行われ、大勢の来場者でにぎわいました。会場では市消防署出張所による消防車両の展示や登米警察署の広報も行われ、子どもたちが消防車や白バイに喜んで試乗していました。ステージでは、小学生や文化協会の皆さんの踊り、東和中の男子生徒による躍動感あふれるダンスなどが披露され、大きな拍手が送られていました。